



100周年記念 第68回北海道写真館連合会 札幌大会に寄せて

100周年記念 第68回北海道写真館連合会札幌大会、開催おめでとうございます。普通が普通でない時代を経験した今、連合会の皆様が一堂に集い、ともに学び、語り合うことのできる幸せ、大切さを改めて実感されていることと存じます。今大会は100周年記念大会とお聞きし、その年月の重さを感じないわけにはいきません。草創期の先輩諸氏のご苦労や、それを継続されてきた方々のご努力は想像するに難しくないところであります。私は北海道開拓村に再建された旧広瀬写真館の姿を拝見し、新しいことに挑戦するパイオニア精神はすでにその時から強く、そして、今もお引き継がれていることを実感し、敬意を表します。昨年11月には写真展「写真館物語～写真館で残す家族の歴史～」の開催に際して、多大なご協力を頂いたことに感謝申し上げます。大きな反響と想像を超える結果を残された現写真館連合会の皆様の熱意と情熱に感服いたしました。次の世代の後継者に夢をもって働ける環境を作ることが我々に与えられた最大の使命だと思っております。写真館は日本の文化と共存していくことで成り立っているものです。これまで、文化を守ることが我々の仕事の継続をもたらすと考えておりましたが、これからはもう一歩前に進んで、写真館の写真が文化を守る、こんな写真が欲しい・・・だから七五三をする、成人式をする。我々の写真館文化こそが日本の文化そのものである。写真館の繁栄はそこにあるのではないかと考えております。常にパイオニア精神をもって活動されている北海道写真館連合会のご発展をお祈りすると同時に、より大きな期待のもと、一層のご支援・ご協力をお願いし、お祝いの言葉とさせていただきます。

一般社団法人日本写真文化協会 会長 田中秀幸



今こそ業界のオピニオンリーダーに

100周年記念第68回札幌大会を祝して

北海道写真館連合会 100周年を祝し、心からお慶び申し上げます。コロナ禍により二度の延期を余儀なくされた記念大会ですが、一堂に会して祝いそして学べることを共に喜びたいと思います。日本写真館協会は一昨年、創立20周年を迎えました。やはりコロナ禍の影響を受け1年遅れで20周年記念誌を皆様にお届けいたしました。記念誌発行にあたっては、全国各地の有志の皆様から温かいご支援をいただきましたことに改めて御礼申し上げます。

一口に20年と申しましても、この間に写真撮影業を取り巻く環境が大きく変わったことは皆様が日々、感じていることと思います。平成期の国の統計調査(経済センサス)によると写真撮影業は事業所数も業界売上高も増加しており写真撮影業全体が決して不況ではないことを示しています。また、コロナ禍もここにきて収束の兆しが見え始め、撮影業界全体としては回復の兆しを感じていることと思います。

こうした状況を踏まえて協会は、いま取り組むべき事業を真剣に考えています。協会は令和を迎えると同時に、「時流独創」をテーマに事業活動に取り組み、業界のオピニオンリーダーとなるべく、結果を残すことを目指して新たなビジネスモデルの創造にチャレンジを始めました。具体的には、新たな事業として60代の肖像を残す「ReBorn60」運動をスタートしました。この運動の開始にあたっては全国の多くの会員さんからキャンペーン参加のお申込みをいただき大きな手ごたえを感じました。残念ながらコロナ禍の拡大でキャンペーン展開はやや控えめとなりましたが、一部の県においては写真展も開催しており、これから再び盛り上がることを確信しております。また、写真館の利益倍増を目標に新しいビジネスモデルを模索しています。その一環として、利益倍増にチャレンジする写真館4社を公募し、プロジェクトチームの7人が約一年にわたりコンサルティングしました。その大きな成果は会報誌「THE 写真館」122号(2022年4月発行)でお伝えしたとおりです。各地の写真館に多様なヒントや励みを提供できたと考えており、新たな公募に応えた会員写真館を今期は8人に増えたチームメンバーがコンサルします。ところで、昨年実施された「令和3年経済センサス・活動調査」において、私たちの業界はそれまでの「その他のサービス業」ではなく、新たに「写真撮影サービス」として独自の分類番号(18-55)が付されました。独自の業種分類は我々の長年の願いであり、私たちの存在が国から認められたものと理解しています。この分類は5年間据え置かれるそうですが、5年後に私たち業界がどのような名称で分類されるのか、とても気になるところです。引き続き日本写真館協会は業界のオピニオンリーダーとしての自負を持ち、固定観念や”業界の常識”にとらわれることなく、新しいビジネスに積極的にチャレンジしていきます。次世代に託せる豊かな業界の創造を目指し、全国の会員の皆様とともに事業活動を推進し、新たな未来を切り拓く所存です。北海道写真館連合会の皆様におかれましてもご理解とご協力を賜りたく存じます。100周年記念札幌大会のご盛会と連合会の今後ますますのご発展をご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

協同組合日本写真館協会 理事長 佐藤 泰博

大会実行委員のご紹介

大会実行委員長	堀田 雅嗣	記録係	波多野 誠
開催地実行委員長	関 浩司	作品係	中岡 真一 神原 勝
開催地副実行委員長	中岡 真一	懇親会係	碓井 博亮 成田 武照
相談役	原崎 真一	司会進行係	碓井 博亮 神原 勝
総務	原田 尚佳 森田 一弘(道連総務)	会場係	関 浩司 石栗 正雄
会計・受付係	加藤 久美 宮川 隆彦		小田切 修 工藤 貴義 猿川 真子